

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

社会福祉法人白河学園
第三つぼみ園

公表日：令和2年3月3日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関・トイレ入り口に段差がある。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日の振り返りやケア会議等で意見交換を行っている。今後も課題等について、具体的な目標を掲げ業務改善を行っていく。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意見を真摯に受け止め、支援の改善を図っていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人で作成しているホームページや玄関先へ掲示し公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、本体施設で実施している福島県社会福祉協議会の第三者評価の実施を検討し、職員間で課題を共有したいと思う。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			キャリアパス基準により職員を研修派遣し、その他の外部研修にも積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ほぼ6ヶ月モニタリングごとに実施し、個別支援計画を作成。モニタリング時には保護者と面談実施している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールは使用していないが、医療機関で実施した発達検査結果等を保護者から提出してもらえるようにしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全員で意見交換を行い、立案している。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか		○		活動は固定化していないが、児童が楽しめる集団活動等を検討していく必要がある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休みには行事を取り入れている。また、季節の行事（豆まきやクリスマス等）や買い物支援等行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に応じた活動の提供や行事等集団活動の場面では、一人一人の課題に添えるように計画作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝の打ち合わせ時に行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		職員の勤務時間に違いがあり、翌日に行っている。緊急を要する場合は、随時口頭で話し合いを実施している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日個々のケースを記録し、振り返りやケア会議時に支援の検証を行い、支援目標に繋げている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			概ね6ヶ月ごとにモニタリングを行い、支援内容の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			子どもの発達過程や障がい特性等を理解し、基本活動を支援している。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相談支援事業所から召集される会議には、左記のような者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎の際、先生とのやりとりの他、家族を通して情報を有している。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	保護者を介して医療情報を得ているが、子どもの主治医等との連絡体制は整えていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	相談事業所との連携はとっている。小学校新入生の受け入れはない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、その場での支援内容等の情報を提供する等しているか			○	学校と家庭を通してのやり取りが主となっている。情報提供は、相談支援事業所を通して行っているが、その場での情報提供には至らない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センター等が主催する研修の案内をいただき、積極的に参加している。また、自立支援協議会等でも意見交換する機会を頂いて、連携に努めている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか			○	利用児童は、中・高校生が主な事業所であるため、左記の交流機会等の提供は、考えていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			「しらかわ地域自立支援協議会 教育・こども支援部会」参加している。また、「障がい児通所支援事業所連絡会」にも毎回参加し、情報共有と連携に努めている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳を利用して、家庭での様子、事業所での様子を共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			利用児童の様子を共有する中で、保護者の悩みや課題に寄り添い、それぞれの家庭に合った子どもとのかかわり方の助言ができるように努めている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時に説明、配布している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて話を聞く時間を設けている。
	㉒	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	会の開催はない。今後の課題である。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合には、「白河学園苦情解決制度実施要項」により、適切に対応していく。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月一回「第三つぼみ園だより」を発行し、活動の様子等発信し、配布している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			法人として「個人情報保護規定」により慎重に管理している。個人情報は鍵付きキャビネットに保管している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			先入観や思い込みではなく、子どもの行動の前後の様子から読み取るよう努力している。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後の課題としていく。

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			策定し、周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか		○		職員間で防災に関する計画確認は行っている。利用児童にも防災教育の機会は提供しているが、定期の避難訓練の実施がないため、今後の課題として考え、実施していきたい。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			人権は何よりも最優先されるものであり、「白河学園職員倫理綱領」を職員へ周知し、研修会に参加している。また、支援について振り返り時に話し合いをしている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束に関しては、重要事項説明書にも記載し、契約時等に保護者に説明もしている。今まで、身体拘束を必要と考えられる子どもの受け入れケースはないが、受け入れを行う場合は、話し合い決定していきたい。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		母親からの情報により対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハットを作成し、事故防止や支援の質の向上に努めているが、今後は今以上にヒリハットや気づきを作成し安全確保に努める。